

07月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	岸上 薫	参加 メンバー	CL:岸上 薫 部外者 4名
		報告日	08/22		
山 域	中央アルプス	山行日	11年 07月 14日(木) ~		
山 名	木曾駒ヶ岳		11年 07月 14日(木)		

山行目的	夏山をゆっくりと楽しむ	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-------------	------------------

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集  
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

07/14 晴れ
07:00 刈谷発
09:50 菅の台バスセンター
10:50 千畳敷
11:40 八丁坂(一本)
12:10 宝剣山荘(一本)
12:50 中岳(一本)
13:30 木曾駒ヶ岳着
14:35 木曾駒ヶ岳発
15:15 宝剣山荘
15:35 宝剣岳着
15:45 宝剣岳発
16:05 宝剣山荘
16:50 千畳敷
17:50 菅の台バスセンター
22:00 刈谷着

山行報告 晴れがール?がいるためか、絶好の山行日和だ。7時に刈谷で集合し、SAで休憩を取りながら、菅の台バスセンターに到着。割引チケットの印刷を忘れ、駄目目で窓口の人に聞いてみるも、やはり駄目でストラップはもらえなかった(残念)。ロープウェイでは、年配の方がカメラ片手にはしゃいでいた。風景の説明テープが流れていると思いきや、入口付近でお姉さんがマイクに向かってしゃべっていた。ちなみにロープウェイは、7m/秒で動き、950mをわずか7分半で到着する。普通に歩くと3時間は掛かるのを考えると、ロープウェイの早さがわかる。千畳敷に到着すると、真正面に宝剣岳が見え、山への気持ちが高まる。早速、出発したが、山がール達の足取りが重い。おそらくいきなり2600mまで来たため、高度順応が出来ていないのだろう。ゆっくりと登っていくが、宝剣山荘の手前にある急登で山がール(M.Y)さんの調子が悪そう。サックの荷物を一部預かり、何とか宝剣山荘に到着。木曾福島や駒ヶ根の町並みがきれいに見え、心が和む。中岳に向かう登りでは、疲れて人相が悪くなるメンバーがおり、少し怖かったが、無事に登りきった。目の前に見える木曾駒を見て感動していた隣で、山がール(N.Y)さんは、一旦下る道を見ながら、帰りは逆に登りとなることを気にしていた。どうにか山頂に到着し、カップ麺と山ホーイ(T)が準備してくれたチャイを飲みながらゆっくりとアルプスの景色を堪能した。山頂でのエネルギー補給が効いたのか、帰りは順調に宝剣山荘まで到着し、宝剣岳へアタック。山がール(A&N.Y)さんが大丈夫かと心配したが、淡々と付いてくる。山頂では、岩の上で寝転がる程の豪胆さを見せられ少々驚かされた。休憩後、宝剣山荘を通り千畳敷までを1ピッチで歩き、最終のロープウェイ・バスを乗り継ぎ、無事に駐車場へ到着。温泉と明治亭のソースかつ井を堪能して、刈谷には22時に到着した。

リーダー所見 今回は、去年11月以来の開催のため、不安を持っていましたが、全員最後まで歩き通したことに自信を持って下さい。ただ、装備を軽く出来ないかは、再度自分で検討下さい。特に水は、余分に持っている事が多いですので、パーティーとしてどれだけ持つかを事前に相談しましょう。次回は、6時間程度の山行でテント泊を経験してもらいたいのので、もう一頑張り下さい。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

確認  
(リーダー)  
岸上  
11/07/19  
作成  
(報告者)  
岸上  
11/07/19